

東京観光産業
ワンストップ
支援センター

「第1回 観光経営力強化セミナー・観光事業者交流会」を開催しました。

観光関連事業者の皆様の経営改善や新たな挑戦の一助となるよう、セミナー及び事業者交流会を開催しました。

開催日：令和8年7月10日（金）14:00～17:30

会 場：JPタワーホール&カンファレンス

第1部：セミナー「市場変化の中で選ばれる都内観光事業者のポジションと戦略」

池上 重輔 氏

（早稲田大学大学院 経営管理研究科教授、研究科長）

第2部：東京観光産業ワンストップ支援センター 事業説明会

第3部：観光事業者交流会



【第1部】セミナー

第1部では、池上氏から、日本の観光ビジネスの潜在性や観光事業者が東京で選ばれるための戦略についてご講演いただきました。観光は、日本が世界で最も潜在的競争力を持つ分野であり、東京は「Old meets New」という言葉で表されるように様々なブランドを有する都市であることから、そこで選ばれるには「誰に×何の価値で×なぜ選ばれるか」を個々の事業者が明確にする必要がある、とのお話がありました。講演後は、株式会社やまどころ代表取締役・村山慶輔氏にもご登壇いただき、パネルディスカッションを行いました。

第2部では、東京観光財団の観光関連事業者を対象にした各種支援メニューや補助金に関する説明会を行いました。

第3部の観光事業者交流会では、15の事業者にブースを出展いただきました。村山氏にもご参加いただき、リアルな場で活発な交流が行われました。



【第3部】観光事業者交流会

第2回観光経営力強化セミナーのご案内

第2回観光経営力強化セミナーは、**令和8年10月8日（木）14時00分**から開催。皆様のご参加をお待ちしております！

■テーマ：「現場を回す新たな人手不足対策！観光事業者のための生成AI活用」
～経営改革に成功した老舗食堂「ゑびや」に学ぶ、AIを成果につなげる実践法～

■会場：コンgresクエア日本橋

■申込フォーム：<https://form.run/@kankokeiei2-xlezfqpxp94If3xCFmIY>

※詳細は[こちら](#)



講師：小田島 春樹 氏
（有限会社ゑびや 代表取締役社長）

「第1回 観光関連事業者向けデジタルシフト初級セミナー」を開催しました。

都内の観光関連事業者を対象に「デジタル活用で最大化する人手不足時代の観光産業経営」をテーマとして、デジタル化への第一歩を踏み出してもらうセミナーを開催しました。基調講演では、業務効率化と収益向上の両立のポイントや、今取り組むべき施策についてご講演いただきました。事例紹介では、都内宿泊事業者から清掃管理業務のデジタル化により効率と質を向上させた取組をご紹介いただきました。また、「[観光関連事業者デジタルシフト応援事業補助金](#)」のご案内や個別相談会も実施しました。次回は11月頃に開催予定です。

開催日：令和8年7月8日（水）14:00～16:45

会 場：TKP新宿西口カンファレンスセンター

第1部：基調講演「人手不足時代の観光産業経営」

トラベルボイス株式会社 鶴本 浩司 氏

デジタル化取組事例のご紹介

OTHER SPACE Asakusa 西田 智也 氏

第2部：個別相談会



【第1部】基調講演・デジタル化取組事例のご紹介

『インバウンド対応力強化支援事業補助金』募集中です！

都内の宿泊施設、飲食店、免税店、体験型コンテンツ提供施設等が、訪都外国人旅行者のニーズに対応した利便性や快適性を向上させる目的で新たに実施する受入対応強化の取組を支援しています！

詳細は
こちら➡



補助対象事業者

開業予定もOK

- 旅館業法の許可を受けて「旅館・ホテル営業」「簡易宿所営業」を行う施設
- 飲食店、免税店（中小企業者のみ）
- 体験型コンテンツ提供施設等（中小企業者のみ）
- 観光周遊及び空港アクセス等の事業を行う観光バス事業者
- 外国人旅行者の受入対応に取り組む中小企業団体等・観光関連事業者グループ
- 観光タクシー事業者、観光バス事業者

補助率・上限額

■補助対象経費の2分の1以内

※多言語対応は3分の2以内

■1施設/店舗/営業所当たり上限300万円

■1団体/グループ当たり上限1,000万円

※「防犯カメラの設置」は上限90万円（1施設当たり上限15箇所）



補助対象事業例

インバウンド対応力強化のために新たに実施する事業

★災害時における外国人旅行者の受入対応

多言語拡声器、災害情報伝達専用デジタルサイネージの導入、災害対応リーフレット・防災マップの作成、災害対応研修や避難訓練の実施、事業継続計画(BCP)の策定等

★手荷物預かり設備の導入

外国人旅行者が手ぶらで観光を楽しめるようロッカーやセルフクロック等の手荷物預かり設備の導入を支援 ※宿泊施設のみ

★男女共用多機能トイレの設置

外国人旅行者が自らの状況に応じて選択できる多機能トイレの設置を支援

- 多言語対応（施設等の案内表示・マナー啓発・ホームページ・パンフレット等の多言語化等）
- 公衆無線LANの設置対応
- キャッシュレス機器の導入（クレジットカード・電子マネー・多通貨決済等）
- インバウンド対応に係る人材育成（研修会開催、接客マニュアルの作成等）
- 防犯カメラの設置 ※宿泊施設のみ
- 外国人用グルメサイトへの掲載に要する費用 ※飲食店のみ

『宿泊施設バリアフリー化支援補助金』募集中です！

バリアフリー化に取り組む宿泊事業者に対し、施設整備等に要する経費の一部を補助します。施設の工事だけでなく、視覚・聴覚障害対応等の備品購入も補助対象となります。東京を訪れる様々な方の受入環境整備に向けて、ぜひご活用ください。

詳細はこちら➡



補助対象施設

東京都内において旅館業法の許可を受けて「旅館・ホテル営業」「簡易宿所営業」を行っている施設（予定を含む）

新築
OK

補助対象経費

バリアフリー化を推進するための、施設整備、客室整備、備品購入、実施設計及びコンサルティングに要する経費

補助対象事業例（備品購入）

備品購入
のみもOK



▲来客を振動や発光で知らせる屋内信号装置



▲音声を多言語で表示するディスプレイ

補助率・上限額

補助対象経費		延床面積1,000㎡未満の施設		延床面積1,000㎡以上の施設	
		補助率	補助限度額	補助率	補助限度額
(1)コンサルティング		2/3	100万円	2/3	100万円
(2)施設整備		4/5	3,000万円 (6,000万円) ^{※2}	2/3	2,500万円 (5,000万円) ^{※2}
(3)客室整備 ^{※1}	1 15㎡未満の建築物バリアフリー条例に定める一般客室の整備を行う場合	3/4	4,000万円 (8,000万円) ^{※3}	2/3	3,500万円 (7,000万円) ^{※3}
	2 15㎡以上の建築物バリアフリー条例に定める一般客室の整備を行う場合	4/5	4,200万円 (8,400万円) ^{※3}	3/4	4,000万円 (8,000万円) ^{※3}
	3 車椅子使用者用客室の整備を行う場合	4/5	4,200万円 (8,400万円) ^{※3}	3/4	4,000万円 (8,000万円) ^{※3}
	4 車椅子使用者用客室の整備で、客室出入口の有効幅を90cm以上とする場合	9/10	4,800万円 (9,600万円) ^{※3}	4/5	4,200万円 (8,400万円) ^{※3}
(4)備品購入		4/5	320万円	2/3	270万円
(5)実施設計 ^{※4}		4/5	100万円	2/3	90万円

※1 「建築物バリアフリー条例に定める一般客室」又は「車椅子使用者用客室」を目指す整備

※2 以下に示す敷地内の整備を含む2種類以上の整備を行う場合

①敷地内の通路、②出入口、③廊下等、④階段、⑤階段に代わり、又はこれに併設する

傾斜路、⑥エレベーター、⑦特殊な構造又は使用形態のエレベーターその他の昇降機、⑧駐車場

※3 客室を6室以上（改修前を基に判断）バリアフリー化する場合

※4 (2)又は(3)と同時に申請したもののみ対象

募集
期間

令和9年3月31日（水曜日）まで【当日消印有効】

※補助金申請額が予算額に達した時点で受付を終了します。

受付終了の場合は、当ホームページにてお知らせします。

申請
方法

申請に必要な書類を期間内に簡易書留にて郵送、または電子申請システムでご提出ください。